



『学び』で可能性の扉を開く住用中

「学問に王道なし」

校長 原 憲正

中学の頃、私は数学が全くダメでした。テストではいつも10点。それが3年生の2学期に、1ヶ月あまりで90点以上取れるようになったのですが…そうなるまでのこの期間は、自分にとっては地獄のような日々でした。

今では考えられないくらい、体罰や怒鳴り声にあふれた昭和の学級、数学担当の担任は私に「原あ！明日までにこれを全部やって来い！」と1冊の計算ドリルを投げつけました。「やって来んかったら、どうなるか分かっているだろうな！」分かっています、思いつ切り叩かれる。恐怖に震えながらほぼ徹夜で取り組みました。

指示は続きます。「原あ！この連立方程式の章、どんな問題が出て解けるようになれ！」もう必死でした。必死に取り組んで、なんとか連立方程式の問題なら文章題でも全て解けるようになりました。

すると不思議なことに、それ以降 数学の問題が何でも解けるようになったのです。おそらく徹底的に取り組んだことで「数学的に考える力」が身に付いたのでしょう。今までサボっていた数学の学習を1ヶ月余りの期間に凝縮してやり直したわけです。

体罰による指導は今でも全く納得していませんが、「学問に王道なし」、やるしかない。楽しんで学力が上がることはないことを学ばされた出来事です。

1月に鹿児島学習定着度調査が実施され、先日その結果（速報値。正式な数値は3月13日公表）が発表されました。住用中の2年生は国語・社会・理科の3教科で県の平均を上回り、数学・英語は県平均に少し及びませんでした。1年生は数学が県の平均を少し上回り、残りの教科は県の平均に及んでいません。

住用中では「家庭学習時間90分」を目標にしていますが、1・2年ともにこれまでの平均取組時間は90分に達していない状況です。学力向上は家庭学習だけで決まるわけではありませんが、少なくとも今日授業を受けて学んだことをもう一度しっかり復習して自分のものにする大切な時間が、別の事に費やされているようにも感じられます。それが読書なのか、あるいはネットやスマホ、ゲームなのか、正確なところは分かりませんが…。

たくさん伸びしろはあることが分かっている生徒たちです。せっかくの力を埋もれさせることがないよう、今すべきことに力を入れるように、学校では今後も指導していきたいと思っています。

これが私のおすすめの本



【発表者全員が素晴らしい本の紹介を行いました】

2月10日（土）に、住用中学校ビブリオバトルを行いました。

昨年度は3つのグループで発表しあい、グループで選ばれた生徒が全体で紹介を行う形式でしたが、今年はグループ予選なしで、1人ずつ全体に本を紹介する形式で行いました。それぞれに自分らしく、聞く人に伝わりやすいように自分が推す本の紹介をしていました。特に表情や身振りでの表現も見て取れ、大きな成長を感じる行事となりました。

チャンプ本には、濱本紫音さんが分かりやすく、心を込めて紹介した「**かがみの孤城**」が選ばれました。

この一年間充実した読書活動の一つの節目になったと感じます。これからも本に親しんでほしいと思います。

4月から充実した中学校生活を



【入学予定者に丁寧に説明を行いました。】

2月7日（水）に4月から住用中学校に入学予定の児童、保護者へ入学説明会を行いました。中学校の学校生活の1日の流れや学校行事、生徒心得、入学時の購入品などについて、新入生の児童に中学校生活が不安なく充実した生活になるよう、担当の中学校職員が詳しく説明をしました。

住用中学校は新1年生の入学を楽しみに待っています。

入試まであと 1 年

今年受験生がいない住用中学校ですが、2月に入り島内各中学校の私立高校入試の合否が聞こえてくるようになりました。

2年生は昨年の3年生の姿をよく覚えていると思います。3年生は10月から放課後学習や冬休みに登校しての自主学習など頑張っていました。自ら未来を切り拓く努力をする住用中の伝統をこれから在校生のみなさんが行動で形にしていけることになります。

残り一年を「まだまだ」と捉えるか、「もう」と捉えるかで行動も変わるでしょう。

ちなみに、鹿児島県ではこの数年で私立高校の人气が高まり、私立高校と公立高校の逆転現象が進んでいます。今年の私立高校合格は更に難しくなっています。現実を受け止めて立ち向かう気概が必要ですが、困難に耐えてつかむ合格はより尊い人生の支えになるものです。

現実を知り、努力して目標をかなえられるように心の準備をしていってほしいと、いずれ中学校を巣立っていく生徒たちに期待しています。

様々な方の力で咲いた美しい花



【花の手入れをする金城さんと表彰の様子】

2月15日、奄美市教育委員会により、本校の緑化活動の取り組みが「地域とともに花いっぱい活動コンクール」優良賞として表彰されました。

この1年、地域の方の協力を得ながら、みんなで取り組んできた花づくり。種を鳥につつかれたり、苗をねずみやナメクジにかじられたりしながら取り組んできた苦労が報われた表彰でした。

これまで中心になって取り組んでこられた校務員の金城ちよりさんが代表として、校長先生から表彰状を贈呈されました。

御協力いただいた地域の皆様にもあらためて感謝申し上げます。

4月の入学式に向けて、美しい花で新入生を迎えることができるように、これからも花の手入れを大切に行っていきたいと考えています。

花づくりの難しさは続きますが、来年度も美しい花で見る人の心を癒やす環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

社会に巣立つ日のために



【原永秀浩さん】



【師玉龍一さん】

2月21日にアイタイムズの原永秀浩さんと師玉調剤薬局の師玉龍一さんを住用中学校にお招きして「社会人に学ぶ」職業講話をしていただきました。

原永さんにはプログラミングのことに限らず、社会の情勢についてもお話しいただきました。またお話しの間々からどの仕事にも共通する社会人としてお仕事に取り組む姿勢を教えていただきました。

師玉さんには、薬剤師を目指すための進路について、また様々な場面でいろいろな薬剤師が活躍していることを教えていただきました。また、お仕事を通して様々な人たちと直接関わり力を合わせる薬剤師の姿に、街の人たちの健康を支える気概というものが感じられ、生徒たちは薬剤師という職業にも改めて興味を抱いていました。

お二人の御講話から、どの仕事にも共通する社会人として自らの職業に真剣に向き合う姿が伝わってきました。生徒たちが将来を考えるにあたって、素晴らしい種を蒔いていただいたと感じます。

教育活動について意見を頂きました

2月21日(水)、評議員2名をお迎えして、第3回学校評議員会を開催しました。これまでの住用中学校の取組や生徒の様子などを詳しく説明し、評議員の方々から様々なご意見をいただきました。



地域の方の温かい見守りに住用中学校は支えられています。これからもよろしくお願いします。

3月、4月の主な行事

- 3/ 1 (金) 学年末テスト 3日目
- 3/25 (月) 修了式 離任式
- 4/ 5 (金) 入学式準備
- 4/ 8 (月) 新任式・始業式・入学式
- 4/10 (水) NRT・知能検査・身体計測
- 4/15 (月) 避難訓練・心臓検診(1年)
- 4/18・(木) 全国学力学習状況調査(3年)